

# キリンビール横浜工場の概要とCSV活動

2018年6月28日


キリンビール株式会社  
生産本部横浜工場

# KIRIN



# 本日のご説明内容

- キリンビール横浜工場のご紹介
- キリンビール横浜工場環境への取り組み
- キリンビール横浜工場と地域のつながり



## キンビール横浜工場のご紹介

# キリンビール横浜工場の位置付け

大消費地である首都圏の生産拠点として、  
大量品を高生産性で安定的に供給する  
「主力工場」

+

様々な新価値創造を実現する  
「総合飲料型工場」



# キリンビール横浜工場の歴史

キリンビール横浜工場は、今年、生麦に移転しておかげ様で92年目を迎えました  
去年はキリンビール(株)の110周年、今年はキリンラガービールの130周年です。

1853  
ペリー来航



1859  
横浜開港



1870  
スプリングバレーブルワリー (SVB)



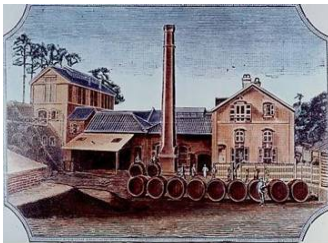
ウィリアムコーブランドは山手で、日本で始めて大衆向けにビールを醸造・発売。



（北方小学校の  
ビール井戸）



1885  
ジャパングルワリー (JBC)



在留外国人経営会社を設立

1888  
キリンビール発売



最初のラベルは、西洋のビールラベルは動物の図柄が多かったことから「東洋の聖獣・麒麟を商標にしよう」という荘田平五郎の発案によるもの。

1889年グラバーが新たなデザインを提案。現在のラベルの原型である。

1889  
現在のラベル原型



1901  
麦酒税法施行 中小の醸造業者が淘汰されていく時代

1906  
大日本麦酒設立 大手3社合同の大会社が誕生した

1907  
麒麟麦酒株式会社創立



（創立当時の横浜・山手工場）  
大日本麦酒から合同の提案を受けたがJBCから資産と営業を継承し新会社の設立を決意。岩崎家・三菱合資・明治屋関係者により麒麟麦酒(株)を創立。

1914  
第一次世界大戦



1923  
関東大震災で  
山手工場倒壊

1926  
生麦工場操業開始



（新設された横浜工場）  
「横浜が生んだキリンビールは横浜で」という強い要望の元、強固な土地、運河に面し国道にも近いという好条件の生麦が選ばれた。

1991  
リニューアル



（キリン横浜ビアビレッジ）



2016  
リニューアル



大人も子供もワクワク楽しめる工場見学施設が誕生！

・1990 「キリン一番搾り生ビール」を発売  
・2017年 キリンビール(株)110周年  
・2018年 キリンラガー130周年  
・2020年 オリンピックイヤー-2020年に30周年

# キリンビール横浜工場の特徴

京浜臨海部活性化の  
モデルケースとし、  
1991年竣工

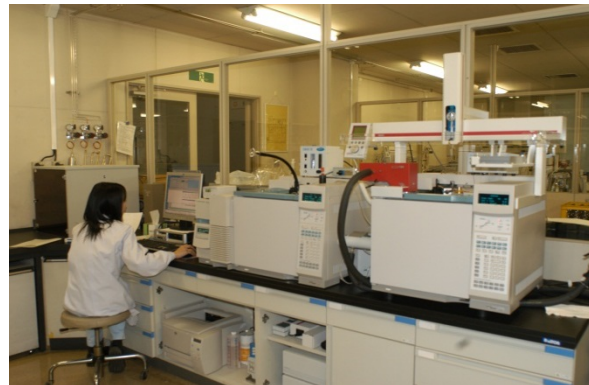
市民に開かれた工場  
「ファクトリーパーク」

4 2014年 お客様  
への新しい価値の提案

「スプリングバレー  
ブルワリー」



1 最先端FA技術を駆使した  
ビール工場  
「首都圏の生産・物流拠点」



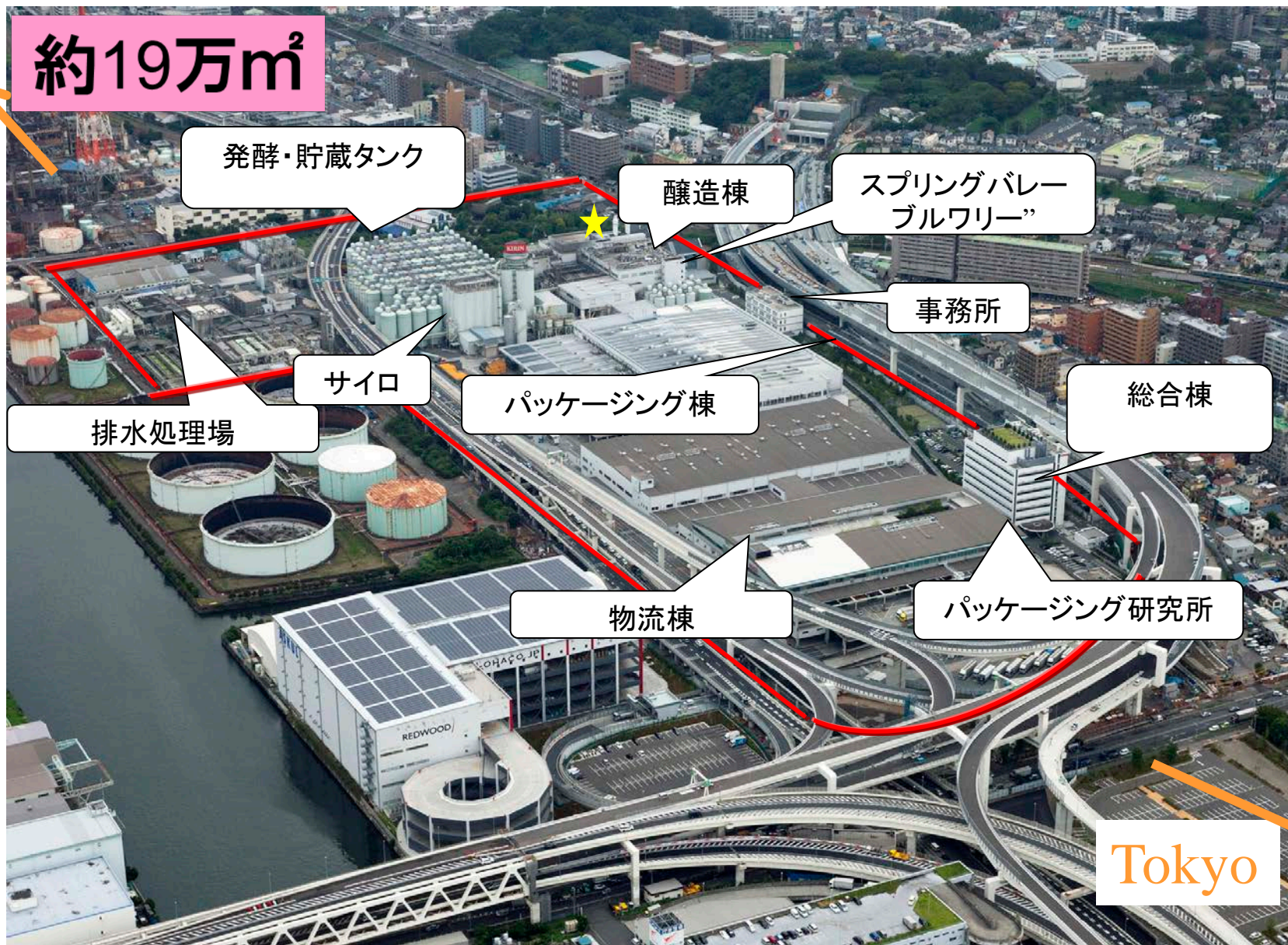
2 キリン社の技術開発  
& 商品開発機能が集約  
「テクノビレッジ」



3 お客様に開かれた  
街の中のオアシス

# キリンビール横浜工場レイアウト

約19万m<sup>2</sup>



Tokyo

# キリンビール横浜工場製造商品

## 主要商品

## 季節商品

ビール

キリンラガービール



キリン一番搾り生ビール



ハイネケン



一番搾り  
とれたてホップキリン 秋味  
生ビール



発泡酒

麒麟 淡麗(生) 発泡酒 淡麗グリーンラベル 発泡酒



一番搾り超芳醇



新ジャンル

のどごし<生>

その他の醸造酒(発泡性)①



のどごし  
STRONG

リキュール(発泡性)②



本麒麟





# キリンビール横浜工場製造商品（新価値創造）

新次元のクラフトビール

スプリングバレーブルワリー



新次元の  
クラフトビール

Tap Marche



ビールの枠を  
超えた提案

ハードシードル



RTD

KIRIN  
氷結<sup>®</sup> お酒



ライフスタイル型提案  
(DRINX:通販で展開)

KIRIN BREWERY Owners Club



# キリン イノベーションファクトリー横浜 R&Dとの協働

場内R&D部門と協働で新しい技術を導入し、小規模醸造設備やビールPET詰めラインを立上げ、クラフトビールの製造を開始しました。  
新価値創造の拠点、総合飲料工場への進化をますます加速します。

酒類技術研究所開発の流加  
培養設備の実機が導入

## ■ 小規模醸造設備



PETビール製造における  
パッケ研開発新規設備が導入

## ■ 果汁発酵設備



## ■ 調合設備



## ■ パッケージング設備

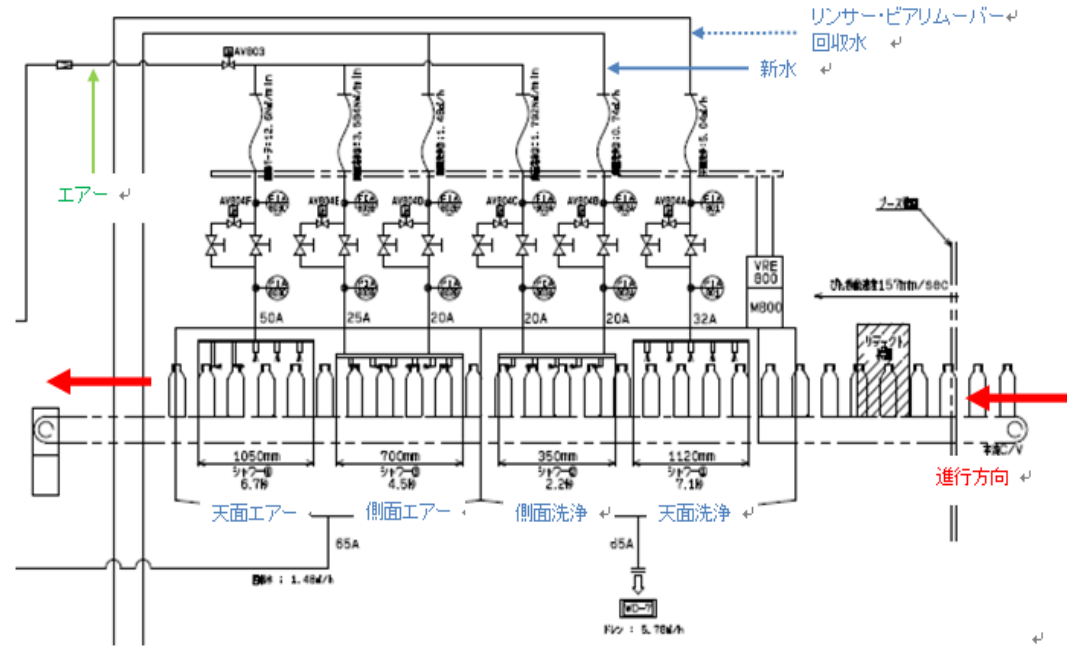


# 【参考】キャップ部ビール残渣による微生物汚染の防止

PET製品はジェットフォーマーでフォーミングさせた後にキャップを巻締めるため、キャップのネジ部・キャップ外面にビール分が残り、微生物汚染のリスクがあった。このビール残渣を除去するため、「ビアリムーバー」を導入した。ビアリムーバーはキャップ天面と側面を回収水・新水（15ppm次亜塩水）とエアを用いて洗浄する。洗浄後のキャップ部のビール残渣はATP拭取りを行い評価し洗浄条件を確立した。尚、キャップは、洗浄性を向上させるためにキャップ天面スリットおよびPPリング部を加工したものを使用している。



図B-1 ビアリムーバー外観



図B-2 ビアリムーバー概要図



キャップ天面のビール残渣を洗い流すよう、スリット加工実施

キャップねじ部の洗浄性向上のため、PPリング部の加工実施

図B-3 キャップの工夫点

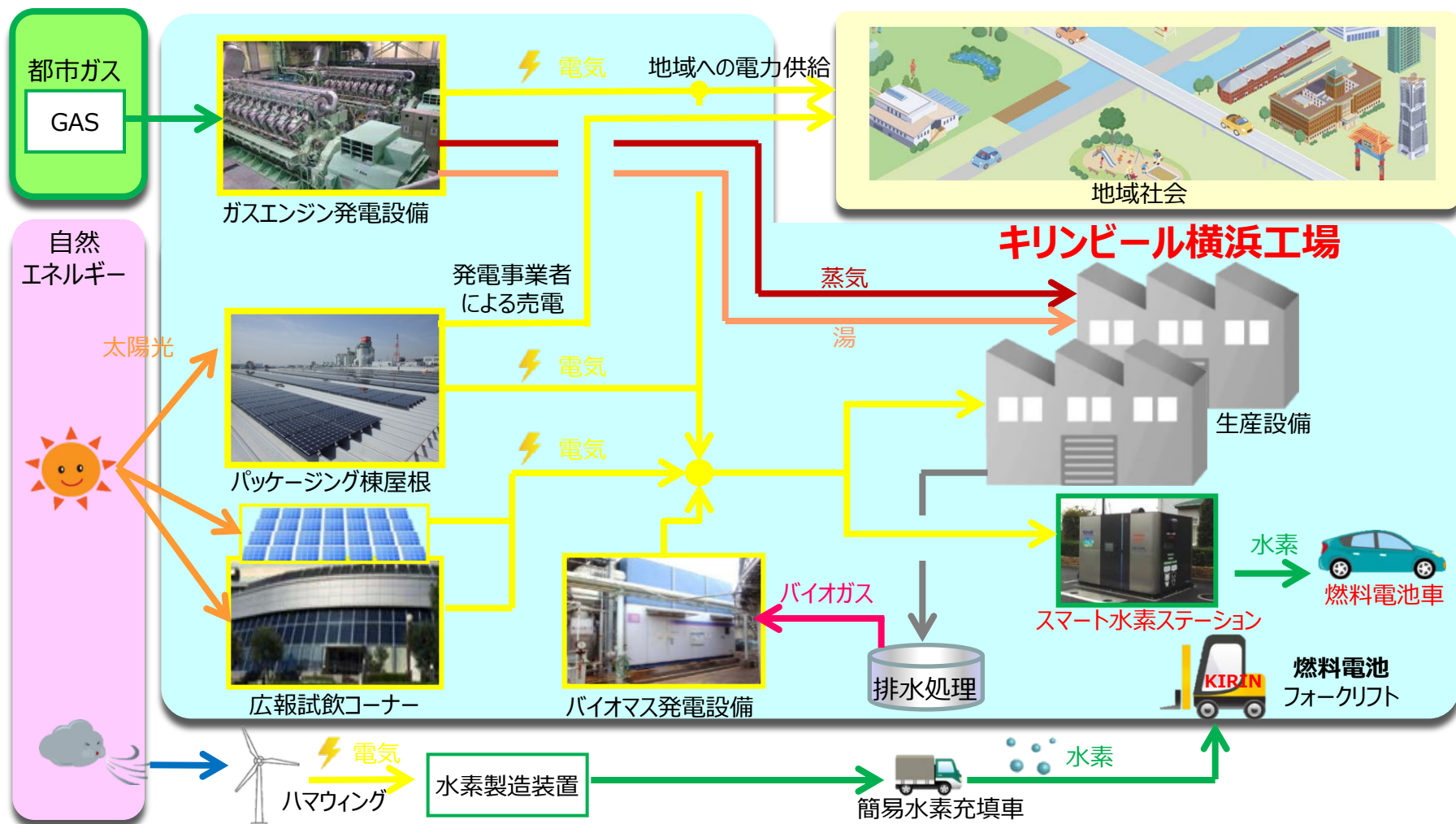


## 麒麟ビール横浜工場の環境への取り組み

# 地球温暖化防止の取り組み

～ 先端技術導入の全体像 ～

自然のめぐみで事業をおこなっている私たちキリンビール横浜工場は、今までの取り組みに満足せず、更なる最先端技術の導入の検討を進め、地域のみならず共に幸せな未来をめざします。



# 地球温暖化防止の取り組み ～ 薄膜太陽電池（窓設置） ～

広報試飲コーナーへの太陽光発電ガラス設置（3.7kW）

2016年2月から発電を開始

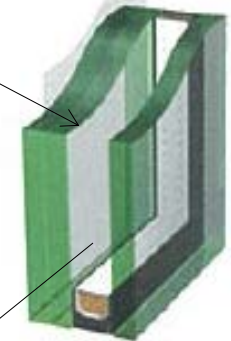
本件は神奈川県薄膜太陽光普及拡大プロジェクトの補助金対象事業



外部（下1段が太陽光発電ガラス）



太陽光発電のセルはすだれ状で反対側が視認可能



空気層（断熱層）

複層ガラス

合わせガラス内に太陽光セルを挟み込み

旭硝子：アトッチ+サンジュールスダレ



内部（透視性が高い）

# 地球温暖化防止の取り組み ～薄膜太陽電池（屋根設置）～

## 屋根貸し太陽光発電設備の設置

設置工事が完了し、2016年7月11日から発電事業者による売電を開始

設置面積：4,600㎡ 容量：630 kW



旭硝子：ライトジュール

# 循環型社会に向けての取り組み ～循環型エネルギー社会構築実証試験～

ハマウイング（横浜市） + 水素製造装置（東芝）



簡易水素充填車  
(岩谷産業)

ハマウイングで発電した電気を水素に変え、麒麟ビール横浜工場の燃料電池フォークリフトに充填します  
麒麟ビール横浜工場ではFCフォーク3台を導入し、ビール等の積み込みに活用しています

FCフォーク（トヨタ）





# 循環型社会に向けての取り組み ～地域再エネ水素ステーション導入事業～

麒麟ビール横浜工場は環境省の地域再エネ水素ステーション導入事業を活用した神奈川県が推進するスマート水素ステーション（SHS）で製造した水素を公共交通に使用する取組に協力しています。工場の薄膜太陽光パネルで発電した電気により水を電気分解して炭酸ガスフリーの水素を製造し、この水素を燃料電池車（FCV）のハイヤーや県の公用車に利用しています。

スマート水素ステーション導入事業

県内の民間施設

再エネによる発電



太陽光発電

電力

水素「製造」



スマート水素ステーション


CO2  
フリー  
水素

SHSで製造した水素のみで公共交通を運行するのは全国初。

水素「利用」



FCVハイヤー  
(3年以内にタクシーへ)



## キンビール横浜工場の地域とのつながり

# 地域に開かれた横浜工場 ～ 横浜市や近隣とのつながり ～

地域に開かれた工場として、長年にわたり緑地の整備を継続してまいりました  
工場立地に関する基本的な役割に加え、その機能を活かして、**観光資源**としての役割、**人と社会のつながりの強化**に貢献していきます

## ■ 水路でつながる

2016年に麒麟棧橋がオープン。月間約500名の皆様にご利用いただき、**横浜の新たな産業観光拠点**として、**横浜内港の海上交通の活性化**に貢献します



## ■ 横浜市とつながる；敷地外緑地制度

横浜北線・岸谷生麦線の高架下緑地が2018年1月26日(金)オープン。横浜市と提携した、“敷地外緑地”制度を活用した第一号事例で、ますます地域とつながります



## ■ 緑地を通じて地域とつながる

京浜臨海地区の企業とコラボレーションしたシンボル・イルミネーションサインを中心に、高架下緑地、芝生広場、緑と池のビオトープ、麒麟棧橋まで約1キロの**連担した緑の空間**は、憩いの場や環境学習の場として幅広く利用されています



## 【参考】水路でつながる

ぷかり棧橋・象の鼻棧橋 ⇔ キリン棧橋

2016年8月、横浜市（港湾局）が推進する横浜港内港地域の水上交通活性化の取り組みに参加。工場に隣接する入江川に観光船用の棧橋を設置しました。

象の鼻棧橋、山下公園棧橋や赤レンガ倉庫、ぷかり棧橋等みなとみらい地区とキリンビール横浜工場を結ぶ新たな海上観光ルートが生まれました。横浜市における人の回遊の一助となっています。



# 【参考】敷地外緑地の利用について

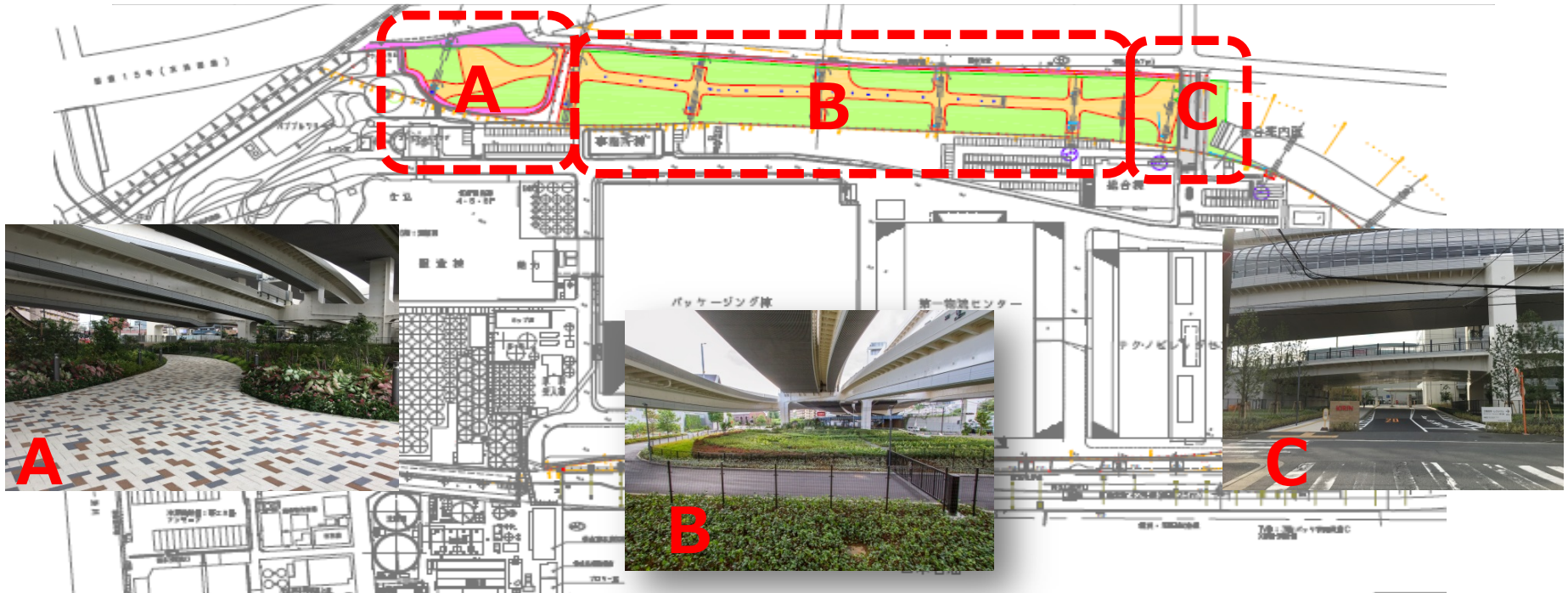
2018年1月に敷地外緑地全体の整備が完了

(A工区：2017年7月完了、 B工区：2018年1月完了、 C工区：2017年9月完了)

A、B工区の解放日時

- ・開放日：火曜日～日曜日（年末年始を除く）
  - ・開放時間帯：午前9時～午後5時30分（広報お客様出入口のゾーンに限り午後10時まで）
- ※月曜日が祝日の場合は、上記時間帯にて開放、翌火曜日を閉鎖とする

エリア	A工区 ウェルカムゲート付近 (広報エリアの一部と位置付け)	B工区 高架下緑地 (地域の生活環境保全の緑地)	C工区 正門付近 (工場の顔としてのゴージャス感)
-----	--------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------



# 工場見学をフックに地域とつながる

あらゆる世代の方にゆっくり楽しんでいただける複合施設を目指し、工場の敷地内にある様々なアトラクションを繋いで近隣企業とも共同し、人がつながるエリアづくりに貢献します

## ■ ノミモノの多様な楽しさを提供

リニューアルした工場見学を核として、2つのレストランに加え、**新しいアトラクション**がお目見えした「ノミモノ・ラボ」や**上面発酵ビールが新たに加わった「ビールづくり体験教室」**等、豊富なコンテンツを通じて、楽しみながら「ノミモノ」の魅力を体験いただけます



## ■ 京浜臨海部企業とのコラボ

京浜急行電鉄様、JR東日本様との**ビール電車**の運行や近隣企業（森永製菓様、日産自動車様。崎陽軒様など）との**コラボ工場見学**も人気。更に、地元企業様とのコラボを推進し、地域の活性化に貢献します



# KIRIN

「飲みもの」を進化させることで、  
「みんなの日常」をあたらしくしていく。

